

2024年夏(第13回)

< 浦佐の夏 の風物詩! > 夕涼み「生ビール&鮎まつり」

浦佐の夏は恒例となった第13回夕涼み「生ビール&鮎まつり」が、梅雨明け間近の7月28日浦佐毘沙門通りを会場に今年も盛大に開催されました。“コロナ”も新たな波がとの報道もありますが、少し和らいた感覚のなかお祭りは新しい日常に沿った開催をすることとなりました。またお祭り内容も毎年のように改善が進み、今回も準備日程やプログラムの検討、そして会場レイアウトの変更など“試行”を繰り返しながらの開催となりました。

年々暑さが増していく気温と不順な天候、梅雨明けがハッキリしないなかにあつて本番当日も“少し不安の残る天候”のなか、午後2時お祭りの幕が開きました。お祭りは例年になく早い人出となってスタートし会場を盛り上げましたが、時々落ちる雨も関係したのか例年のような後半の盛り上がりは残念ながら少ないように感じました。

集計上の人出は、前年比マイナス15%で3,600人となりました。(高齢者と子供の姿が少なかった・・・かな?)

味処では商工会・料飲店組合、キッチンカーの皆さんが自慢の料理・商品を提供し、お客様が絶えることはありませんでした。また活めされた鮎を炭火でじっくりと焼いた“鮎は特に美味しい!”との評判がすっかり定着し、ご来場の皆様には年々充実する「芸能ステージ」と併せ、浦佐の夏を大いに楽しんでいただけたと思います。

以下、写真で一部を紹介させていただきます

7月28日(日曜日) 14:00~20:30
地元歌手お二人のショー、模擬店・キッチンカー
生ビール&焼き鮎、地元芸達者による芸能ステージ
人出 3,600人 (当日スタッフ82人)

